

国有林作業現場見学会を開催！

[愛知森林管理事務所]

10月24日、段戸国有林で当所管内市町村職員を対象とした現場見学会を開催しました。この見学会は、生産性向上実現プロジェクトに基づく実施箇所で、高性能林業機械などを活用した低コストで高効率な生産システムを構築し、作業日報の解析から作業の問題点を検証して改善している事例を紹介して技術や考え方を民有林へ普及する目的として開催したもので、総勢34名の参加者がありました。

当該事業を実行している新城森林組合から、作業システムや使用している高性能林業機械の説明を行い、伐倒から運材までの一連の実演作業を見学しました。

参加者との意見交換では、「定性間伐での選木基準は」、「樹種・経級により売り方、売り先は変えているのか」、「事業を実行している中で問題となっていることは」、「列状間伐の場合、集材線を斜め張りにするメリットは」、「本プログラムの取組結果の民有林への反映方法」など活発な意見が出され、有意義な意見交換となりました。



スイングヤダー（左）による集材の様子

来年四月から民有林において新たな森林経営管理制度がスタートする中、地域、流域の関係者に本プロジェクトの取組を理解していただけたことは、国有林としての民有林支援の一つになったものと考えています。今後もこうした取組を重ねながら民国連携の取組を進めていきたいと考えています。